

# 体育科・保健体育科の 「高次の資質・能力」等について

# 本日の議論について

## 目標

●●する資質・能力（資質・能力の趣旨）について、●●することなどを通して（学習過程）、次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力・人間性等
--------	--------------	--------------

## 見方・考え方

●●（当該教科で扱う事象や対象）を●●（当該教科固有の物事を捉える視点）の視点から捉え（に着眼して捉え）、●●（当該教科固有の考え方や判断の仕方）すること。

## 内容

	●学年相当	●学年相当	●学年相当
知識及び技能に関する統合的な理解 ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~	・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~	・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~	・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~
思考力、判断力、表現力等の総合的な発揮 ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~	・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~	・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~	・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~
（内容の取扱）			

### 「見方・考え方」「目標」について

これまでの議論を踏まえた検討状況・方向性を確認

### 「表形式による内容の一層の構造化」

これまでの議論を踏まえた検討状況・方向性を確認

### 「体育運動領域等の系統性」について

### 「保健の内容の系統性」について

改善イメージを作成

### 「高次の資質・能力」について

前回WGにおける抜粋版での議論を踏まえ  
体育・保健の全ての内容のまとまりについて  
暫定的なイメージを作成

適宜往復しながら  
検討を進めることを想定

## 幸福な人生 よりよい社会

### 学ぶ過程の中で 見方・考え方

が徐々に資質・能力の育成  
を導くようになってともに、より  
よい社会や幸福な人生に繋  
がっている

### 資質・能力 が身に付く

【知識及び技能に関  
する統合的な理解】  
【思考力、判断力、  
表現力等の総合的  
な発揮】

### 主体的・対話的で 深い学び

学校における学び

## 幸福な人生

- 生涯を通じた持続的な身体的・精神的・社会的に良い状態(ウェルビーイングな状態)の実現
- 運動・スポーツとの「する、みる、支える、集まる、つながる」等の関わり方を通じた、生涯にわたる楽しさや喜びの享受と自身の可能性を最大化する豊かなスポーツライフの実現
- 自他が安全で安心し、健康を保持増進する人生

## よりよい社会

- 活力あふれる健康長寿社会・共生社会を実現し社会全体が持続的にウェルビーイングである状態
- 運動・スポーツを通じた地域・経済の活性化、人々の豊かな繋がり、新たな価値創造の実現
- 人々が健康・安全で、未知の課題にも柔軟かつ持続的に対応できる能力を備え、豊かな人生を送ることができる社会を含む環境づくりに、様々な担い手が主体的・協働的に参画する社会

### 学校で体育・保健体育等を学ぶ「本質的意義」

#### 体育

- 身体を媒介に運動学習を行うという独特の学習方法を有し、「運動・スポーツの価値」を体感できるとともに、非認知能力を含む身体的・社会的・情意的スキルの育成に大きな力を発揮する強みがある。
- 全ての子供に運動・スポーツとの多様な関わりを保証するとともに、人と関わりながら自分らしく健康で生き生きとした人生を送る基盤づくりに貢献する、知・徳・体のバランスを支える不可欠な学び。
- デジタル技術が発展する中で、「身体を通じた人間性の醸成」「社会性の育成」「自己理解の深化」の場としての意義・価値を有する。
- 授業における多様性の包摂を通じて、自らの豊かなスポーツライフを舵取りする力と、スポーツを通じた誰も取り残さない共生社会の創り手の育成の両方を目指すことができる。

#### 健康・安全

- 学齢期の健康や安全に関する課題の克服、リスクの軽減に資するとともに、生涯を通じて、身体的・精神的・社会的に良い状態で豊かな生活を送る上での基礎を培う役割がある。なお、学校は、発達段階を踏まえつつ、保健について計画的かつ系統的に学ぶことのできる最適な場所と考えられる。
- 知識の集積に止まらない健康に関する原則・概念を習得することにより、健康に関わる自己決定能力を育み、未知の健康課題にも対応できる柔軟で持続的なコンピテンシーを身に付けることができる。
- 学習内容を日常生活で行動化する実践力を身に付けることで、現代的課題を含めた様々な課題に対応することができるようになるとともに、保健・安全に関するより良い社会を含む環境の創造に主体的・協働的に参画できる力を育てることにつながる。

未来社会を生き抜く  
「人間力」の育成に直結

# 「見方・考え方」について（現状の整理）

「見方・考え方」の改善の方向性（教育課程企画特別部会「論点整理」より）

## 見方・考え方（各教科等を学ぶ本質的な意義の中核）

各教科等の資質・能力が身に付く中で、**様々な世の中を見る視点や考え方が豊かになり、よりよい社会や幸福な人生に繋がっていき**ることを見方・考え方によって示す

主体的・対話的で  
深い学び



資質・能力が  
身に付く



幸福な人生  
よりよい社会

＜書きぶりイメージ＞

（教科で扱う事象や対象）を  
（教科固有の物事を捉える視点）の視点から捉え（に注目して捉え）  
（教科固有の考え方や判断の仕方）すること

＜留意点＞

- ◎ 現行より**短く端的に**（各教科の深まりの鍵は「中核的な概念等」を通じて）
- ◎ **経験の浅い教師が読んでも端的に理解可能な記述に**

## 検討状況・方向性

- 今改訂における整理（「見方・考え方」は、資質・能力の育成を的確な方向性に導くとともに、よりよい社会や幸福な人生に繋がっていきける学びの本質的な意義として整理する）を踏まえ、体育・保健体育を学ぶ意義の中核について、子供たちが学校で学んだ後に、自らの人生や社会との関わりの中で見出していく部分も含めて、なるべく短く端的に表現することとしてはどうか。
- 教科としての一貫性や、人生や社会との関わりにも関係するものであることを踏まえ、引き続き小・中・高で共通的に示すこととしてはどうか。
- 経験の浅い教師や必ずしも体育・保健体育を専門としない教師にとっても理解しやすいものとするため、できるだけ意味するところが直接的に理解しやすい表現としてはどうか。そのうえで、必要に応じて教師の理解を補完できるようにすることに留意し、「見方・考え方」を十分に踏まえながら「目標」や「表形式による内容の一層の構造化」及び「高次の資質・能力」を検討することが必要ではないか。

※「目標」や「高次の資質・能力」等の検討や総則・評価特別部会等での全体の調整も踏まえて適時立ち返りながら検討することを想定する

## 改善案（暫定版）（Ver.3）

### 体育



運動やスポーツを、  
心身の充実に果たす役割や、多様な楽しみ方の視点から捉え、  
自他の豊かな生活及び活力あふれる社会づくりにつなげること。 65字

現行

運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること。

92字

### 保健



保健に関する課題や情報を、  
健康や安全に関する概念やそれに関わる原則に着目して捉え、  
リスクの軽減や生活の質の向上、及び健康・安全を支える環境づくりにつなげること。 80字

現行

個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること。

80字

# 「目標」について（現状の整理）

「目標」の示し方のイメージ（総則・評価特別部会資料より）

（柱書）

- ● する資質・能力（資質・能力の趣旨）について、● ● することなどを通して（学習過程）、次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力・人間性等
--------	--------------	--------------

## 検討状況・方向性

- 心身の発達の段階を踏まえた小・中・高の学習の系統性が引き続き重要であると考えられることから、現行と同様に、段階的な資質・能力の示し方をすべきではないか。
- 一方で、教科として目指す方向性は学校種間によって異なるものではないと考えられることから、「柱書」については小・中・高で共通的に示し、発達段階に応じた書き分けは「資質・能力の柱ごと（知識及び技能、思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力・人間性等）」で行うことで、学校種間を見通した一貫性ある資質・能力の育成が一層期待されるとともに、分かりやすい学習指導要領となることに資するのではないか。
- 資質・能力の柱の1つである「学びに向かう力・人間性等」は、当WGにおける議論において、様々な要素・視点から捉えられることが指摘されていることを踏まえ、目標が冗長となり指導のイメージがわきづらくなることを避ける観点から、箇条書きを用いることとしてはどうか。
- 体育と保健相互の連携を図りつつ一体的な資質・能力の育成を行う観点から、両領域・分野を架橋することを意識すべきではないか。

※「見方・考え方」や「高次の資質・能力」等の検討や総則・評価特別部会等での全体の調整も踏まえて適時立ち返りながら検討することを想定する



# 「目標」について（現状の整理）

## 改善案（暫定版）（Ver.3）

共通

【柱書】（●●する資質・能力（資質・能力の趣旨）について、●●することなどを通して（学習過程）、次のとおり育成することを目指す。）

心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力について、運動や健康に関する課題の発見・解決に向けた学習過程を通して、発達の段階に応じて次のとおり育成することを目指す。

小

【知識及び技能】

運動の特性に応じた運動の行い方や自他の運動との関わり方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、それらに関する基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての課題を見付け、運動に豊かに取り組んだり、課題を解決したりするために必要なことについて考え判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力・人間性等】

●運動の多様な楽しみ方や自己の心身の健康に関心を持ち、目的に応じた運動や健康についての課題解決に向けて、他者と協力したり自ら試行錯誤したりする態度を養う。  
●自己にとっての運動や健康の価値を見出しつつ、体力の向上や健康の保持増進を目指し、明るく楽しい生活を営む態度を養う。

中

【知識及び技能】

運動の特性に応じた運動に関する技能や自他の運動との豊かな関わり方及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、それらに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての課題を発見し、運動に豊かに取り組んだり、課題を解決したりするために必要なことについて、合理的に考え判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力・人間性等】

●生涯にわたる運動の多様な楽しみ方や自他の心身の健康に関心を持ち、目的に応じた運動や健康についての課題解決に向けて、他者と協力したり自ら試行錯誤したりする態度を養う。  
●自己にとっての運動や健康の価値を見出しつつ、体力の向上や健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

高

【知識及び技能】

運動の特性に応じた運動に関する技能や生涯にわたる自他の運動との豊かな関わり方及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、それらに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての課題を発見し、運動に豊かに取り組んだり、課題を解決したりするために必要なことについて、合理的、計画的に考え判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力・人間性等】

●生涯にわたる多様な継続的な運動の楽しみ方や自他の心身の健康やそれを支える社会づくりに関心を持ち、目的に応じた運動や健康についての課題解決に向けて、他者と協力したり自ら試行錯誤したりする態度を養う。  
●自己にとっての運動や健康の価値を見出しつつ、体力の向上や健康の保持増進及び回復を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

※下線部は、発達段階等を踏まえた書き分けを行っている箇所

## 体育運動領域等の「系統性」改善イメージ（Ver.2）

## 問題意識等

- 子供の発達はなめらかで連続的であるが、大まかな発達段階や学校間の接続を意識して4年間ごとまとまりとして捉えることは妥当と考えられる一方で、現場におけるこの整理を踏まえた指導の実質化は道半ばであり、発達段階を踏まえたさらなる指導の充実の余地があるのではないか。
- 幼小の「遊び」を通した学びの接続を充実しつつ、小の「遊び」を通した学びの実質化や、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に当たって重要な役割を果たす「各種の運動の基礎を培う時期（小4までの時期）」について、全ての子供たちの十分な活動機会を確保しつつ、より豊かに運動の良さ等を味わったり、発達段階を踏まえて「動き」や「技」等を身につけたり磨いたりするような改善は図れないか。
- 小中の学校をまたぐ際も含め、中高において指導内容が過度に高度化することを解消することはできないか。

		各種の運動の基礎を培う時期				多くの領域の学習を経験する時期				卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わるようにする時期			
現行の系統性		小 学 校				中 学 校				高 等 学 校			
		1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生	1 年 生	2 年 生	3 年 生	入学年次	次の年次	それ以降
運 動 領 域 等		体つくりの運動遊び		体つくり運動		体つくり運動		体つくり運動		体つくり運動		体つくり運動	
		器械・器具を用いた運動遊び		器械運動		器械運動		器械運動		器械運動		器械運動	
		走・跳の運動遊び		走・跳の運動		陸上運動		陸上競技		陸上競技		陸上競技	
		水遊び		水泳運動		水泳運動		水 泳		水 泳		水 泳	
		表現リズム遊び		表現運動		表現運動		ダンス		ダンス		ダンス	
		ゲーム		ゲーム		ボール運動		球 技		球 技		球 技	
								武 道		武 道		武 道	
保 健 領 域 等										体育理論		体育理論	
		保 健				保 健				保 健		保 健	

## 検討状況・方向性

- 小4までの時期において、生涯を通じて運動・スポーツに親しむ基礎を一層豊かに育む観点から、児童が夢中になって試行錯誤したり他者と関わったりしながら体を動かす機会を一層確保し、運動することの良さ等を味わう中で多様な動きを身につけたり磨いたりできるよう、発達段階を踏まえた指導内容（ねらいとする動き等）を適切に示すことを前提とし、「遊び」の要素を取り入れた学習として再整理することは考えられないか。  
※発達段階を踏まえた指導内容（ねらいとする動き等）は、表形式を用いた指導内容の構造的な整理や解説等で分かりやすく示すことを想定
- 小5～中2の段階において、小からの接続を意識した「運動」とすることで、小・中で学校段階が変わった際にも円滑な接続が図られたり、全体を通じてより緩やかな系統性となることで、中高における指導内容の過度な高度化の解消につながるのではないか。
- 中3～高の段階は自身で選択して学ぶことを通して生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現につなげることを目指す段階であり、こうした学びを実質的なものとするためには、中2までの学習でその基礎となる運動をバランスよくかつ十分に経験するとともに、運動することの良さや喜びを豊かに味わう機会が確保されることが必要ではないか。また、中2までの指導内容の過度な高度化を避けたうえで、中3以降においても、過度な高度化を避けつつ、運動・スポーツとの豊かな関わりの機会を適切に確保することに留意すべきではないか。

※細かな内容等については「高次の資質・能力」や中教審全体の検討状況等も踏まえつつ検討を進めることを想定

# 体育運動領域等の「系統性」改善イメージ（Ver.2）

## <参考>

### 幼児期における学び

#### 【領域】

健康

人間関係

環境

言葉

表現

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・  
規範意識の芽生え

社会生活との  
関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・  
生命尊重

数量や図形、  
標識や文字などへの  
関心・感覚

言葉による  
伝え合い

豊かな感性と表現

## 改善案（暫定版）（Ver.2）

必修

選択

各種の運動の基礎を培う時期

多くの領域の学習を経験する時期

卒業後も運動やスポーツに多様な楽しみ方で豊かに関わることができるようにする時期

小学校				中学校				高等学校			
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	入学年次	次の年次	それ以降
体つくりの運動遊び	体つくりの運動遊び	体つくり運動	体つくり運動	体つくり運動	体つくり運動	体つくり運動	体つくり運動	体つくり運動	体つくり運動	体つくり運動	体つくり運動
器械・器具を使つての運動遊び	器械・器具を使つての運動遊び	器械運動	器械運動	器械運動	器械運動	器械運動	器械運動	器械運動	器械運動	器械運動	器械運動
走・跳の運動遊び	走・跳の運動遊び	陸上運動	陸上運動	陸上運動	陸上運動	陸上運動	陸上運動	陸上競技	陸上競技	陸上競技	陸上競技
水遊び	水遊び	水泳運動	水泳運動	水泳運動	水泳運動	水泳運動	水泳運動	水泳	水泳	水泳	水泳
表現リズム遊び	表現リズム遊び	表現運動	表現運動	表現運動	表現運動	表現運動	表現運動	ダンス	ダンス	ダンス	ダンス
ゲーム	ゲーム	ボール運動	ボール運動	ボール運動	ボール運動	ボール運動	ボール運動	球技	球技	球技	球技
						武道	武道	武道	武道	武道	武道
保健				保健				保健			



### 「運動遊び」について

※各領域で取り扱う具体的な内容については今後検討

- 「運動遊び」は、自己決定や自身の可能性の実現・能力の向上に向けて、内発的に動機づけられて運動に取り組む活動を想定。
- 神経系の発達が完成に近づく小4ごろまでの児童の発達段階を踏まえ、やってみよう、こうしたい、といった内発的動機づけに基づく活動機会を十分確保し、各種の運動の基礎として生涯にわたって重要である「動き」やその後の運動につながる「技」等の習得をより豊かに行うことを意図。
- 子供の発達を踏まえた指導内容（ねらいとする動きの習得やそれが洗練化されていく過程等）は、表形式を用いた指導内容の構造的な整理や学習指導要領の解説等で分かりやすく示し、現場において指導イメージがわきづらくなったり、学習内容が不十分なものにならないよう十分留意。
  - ✓ いわゆるやらされではなく、内発的動機づけに基づき、誰一人取り残すことなく子供たちが夢中になって（全力で）取り組む経験を充実
  - ✓ 体を動かすことや運動に対する前向きな気持ちの増加による、運動との関わり方の好循環や豊かなスポーツライフの実現への期待
  - ✓ 内発的動機づけに基づいて他者と関わりながら試行錯誤する中で、「思判表」や「学びに向かう力・人間性等」の高まりにも期待

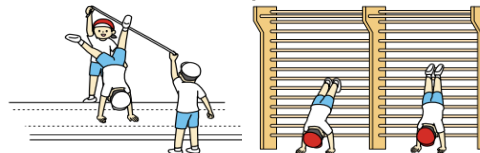
### <イメージ>「器械・器具を使つての運動遊び」を想定した例

低学年（小1～2）

まっすぐ回ることができるかな？  
マットから落ちずにゴールまで  
行けるかな？



中学年（小3～4）



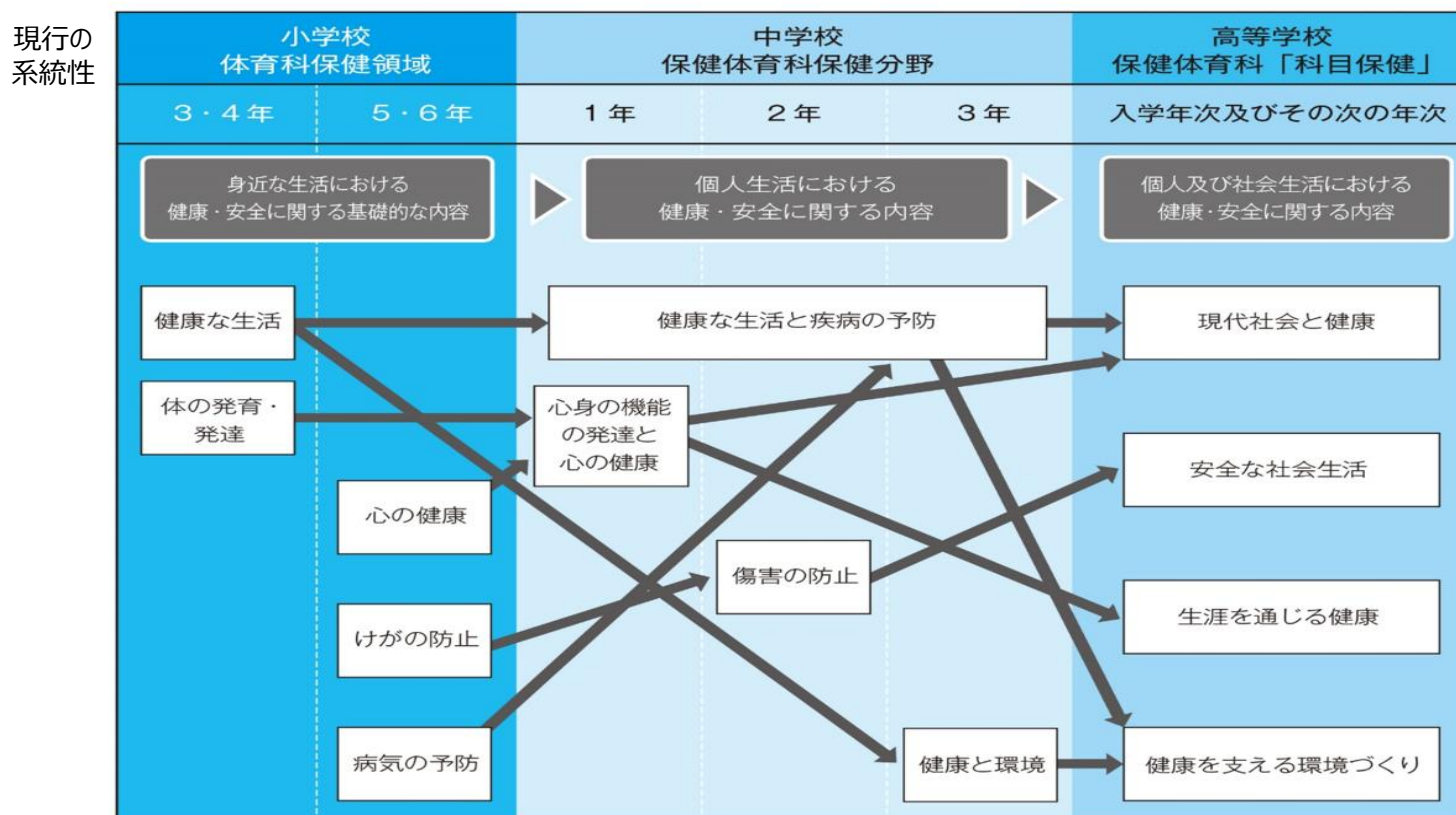
足を勢よく振り上げてゴムに触れさせよう！  
肋木を使って前時よりも  
一段高いところに足をかけてみよう！



# 保健の内容の「系統性」改善イメージ案

## 問題意識等

- 現行では発達の段階に応じた系統的な整理が図られている一方、内容のまとまり相互の関係性が複雑になっている箇所もあり、系統性を意識した指導の充実が図りづらい面があるのではないかと。
- 一部の内容のまとまりにおいては、取り扱う内容が広範なものとなっていたり、複数学年にまたがるものとなっており、内容のまとまりごとの資質・能力の深まりを踏まえた指導がしづらいものとなっているのではないかと。



## 検討の方向性

- 内容のまとまりを必要に応じて細分化し、内容相互の関係性をより明確にしてはどうか。
- 取り扱う内容が広範であったり複数学年にまたがるなどの状況が生じている内容のまとまりについては、同一学年において指導できるよう、原則として単一学年ごとのまとまりとなるように再整理してはどうか。

※より細かな内容等については「高次の資質・能力」や中教審全体の検討状況等も踏まえつつ検討を進めることを想定

# 保健の「系統性」改善イメージ案

## 改善案

### <参考>

#### 幼児期における学び

##### 【領域】

健康

人間関係

環境

言葉

表現

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・  
規範意識の芽生え

社会生活との  
関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・  
生命尊重

数量や図形、  
標識や文字などへの  
関心・感覚

言葉による  
伝え合い

豊かな感性と表現

### 小学校 体育科保健領域

3・4年

5・6年

身近な生活における  
健康・安全に関する基礎的な内容

健康な生活

心の健康

けがの防止

病気の予防

体の  
発育・発達

### 中学校 保健体育保健分野

1年

2年

3年

個人生活における  
健康・安全に関する内容

健康な生活

心の健康

傷害の防止

疾病の予防①

疾病の予防②

身体の機能の  
発達

健康と環境

### 高等学校 保健体育科「科目保健」

入学年次及び次の年次

個人及び社会生活における  
健康・安全に関する内容

健康な生活と現代社会

心の健康と対策

安全な社会生活

疾病の予防と対策

生涯を通じる健康

健康を支える環境づくり

※各内容のまとまりで取り扱う具体的な内容については今後検討

# 体育・保健の「表形式を用いた内容の一層の構造化」「高次の資質・能力」について（現状の整理）

## 検討状況・方向性

### <体育・保健共通>

- 体育・保健いずれも、「知技」の内容の系統性が明確であり、「知技」のまとまりに対応した「思判表」が想定されることから、「知技」に対応して一体的に育成を目指す「思判表」を示す、「並列パターン」の表を用いて整理することとしてはどうか。

※「並列パターン」のイメージは下図のとおり

※「高次の資質・能力」や「内容の一層の構造化」は、総則・評価特別部会等での全体の調整も踏まえて適時立ち返りながら検討することを想定

### <体育>

- 「知技」における公正、協力、責任等の「運動との関わり方（仮称）」に関する内容は、全ての運動領域でその学習を支え豊かにする性格を有するものであることを踏まえ、各領域の特性を踏まえて取り扱うことを前提としつつ、全ての領域共通で示すこととしてはどうか。

### <保健>

- 保健の「見方・考え方」において言及している健康や安全に関する「概念」やそれに関わる「原則」は、内容のまとまりによって性質が異なる（例：「傷害の防止」であれば、応急手当の原則は一定程度明確な一方で、「健康と環境」であれば、身体の適応能力について、どのような環境がどの程度影響をもたらすかは必ずしも一定ではない）こと等から、「表形式による内容の整理」や「高次の資質・能力」において、内容の特質に応じてわかりやすく示すことに十分留意してはどうか。

※次ページ以降の「高次の資質・能力（案）」は、今後、企画特別部会における議論等を踏まえつつ適宜立ち返りながら検討を進める想定。

※次ページ以降の「内容項目例」は、現行の内容をベースに「高次の資質・能力（案）」の検討に当たっての目安として、一例のイメージを示すもの。

## 表形式による構造化パターン①（並列パターン）

資質・能力の一体的育成の可視化

令和7年10月14日  
総則・評価特別部会資料  
（会議後修正版）

（1）項目名	
	知識及び技能に関する統合的な理解
	この内容のまとまりを通じて獲得して欲しい統合的な理解等を示す（検討項目④で詳細を検討）
○学年相当	<div>（小見出し） ・ ・ （小見出し） ・ ・ 右に示す思考・判断・表現の過程で、上に示す統合的な理解を獲得するために必要な要素となる知識及び技能を示す（検討項目⑤で詳細を検討）</div>
○学年相当	<div>（小見出し） ・ ・ （小見出し） ・ ・ 左に示す知識及び技能を活用しながら、上に示す複雑な課題の解決をする上で必要な要素となる思考力、判断力、表現力等を示す（検討項目⑤で詳細を検討）</div>
○学年相当	<div>（小見出し） ・ ・ （小見出し） ・ ・ 知識及び技能に対応する思考力、判断力、表現力等が共通する場合など、分けて示す必要がない場合は、可能な限り繰り返しを避け、セルを統合して示すなど簡潔な示し方となるよう工夫する。</div>
（内容の取扱い）	

資質・能力の深まりの可視化

※表の読み方を示す柱書きや見出し、各項目の番号の示し方等の平仄については告示の検討に際して技術的に検討

体育・保健の「表形式を用いた内容の一層の構造化」「高次の資質・能力」について（現状の整理）

- 「並列パターン」を用いて以下のように構造化を図ることを想定  
（以下は構造化のイメージとして、前回（R7.12.18）資料を再掲）

令和7年12月18日  
 体育・保健体育、健康、安全WG（第5回）  
 資料（抜粋）

小学校【ボール運動系】
 ※学習内容等（グレー網掛け部分）は、議論の参考に「高次の資質・能力」に対応する内容のイメージとして概略等を示しているもの。

	【高次の資質・能力】知識及び技能の統合的な理解			【高次の資質・能力】思考力、判断力、表現力等の総合的な発揮
	そのゲーム等の特性や状況に応じて、自身の動きやボールに関する操作及び仲間と連携したゲーム展開を工夫することにより、自他がその活動を通じた喜びや楽しさを一層味わうことができることを理解している			そのゲーム等の特性や状況から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と伝え合いながらルールや作戦、運動の取り組み方等を工夫することができる
	ゴール型	ネット型	ベースボール型	
1～2年相当	【鬼遊び】 ・一定の区間で、逃げる、追いかける、陣地に走りこむなどの動きにより易しいゲームができる。	【ボールゲーム】 ・投げる捕る等の簡単なボール操作ができる。 ・攻めや守りの動きによって易しいゲームができる。		・自他が運動の楽しさに触れることができるよう、規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、ゲームを楽しむために必要なことを考えたり友達に伝えたりすることができる。
3～4年相当	・基本的なボール操作とボールを持たないときの動きを組み合わせ、集団対集団でゴールを競い合う易しいゲームができる。	・基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きを組み合わせ、集団対集団でネットを使用した易しいゲームができる。	・蹴る、打つ、捕る、投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって、集団対集団でベースボール型の易しいゲームができる。	・自他が運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだり、ゲーム展開に必要なことを考えたり友達に伝えたりすることができる。
5～6年相当	・ボール操作とボールを持たないときの動きを組み合わせ、作戦をもとに集団対集団でゴールを競い合う易しいゲームができる。	・ボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きを組み合わせ、作戦をもとに集団対集団でネットを使用した易しいゲームができる。	・ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって、作戦をもとに集団対集団でベースボール型の易しいゲームができる。	・自他が運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた簡単な作戦を選んだり、よりよいゲーム展開に必要なことを考えたり仲間伝えたりすることができる。
（内容の取扱い）XXX				

※このような示し方で運動領域ごとに示すことを想定。今後、他の領域の「高次の資質・能力」の案も順次作成する中で引き続き検討を行う想定。

小学校【全ての運動領域共通】

	【高次の資質・能力】知識及び技能の統合的な理解
	その運動等の特性や状況に応じて、公正、協力、責任、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が運動に豊かに親しむことができることを理解している
1～2年相当	・規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりしている。
3～4年相当	・規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりしている。
5～6年相当	・ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりしている。
（内容の取扱い）※すべての運動領域において、その特性等を踏まえ取り扱うこととすることを記載することを想定	

※この「知識及び技能」に対応した「思考力、判断力、表現力等」のあり方については今後検討が必要。



# 体育「高次の資質・能力」イメージ案（全領域）

領域		A 体づくり運動系、体づくり運動		B 器械運動系、器械運動	
小学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>心と体の関係に気付いたり仲間と関わり合ったりすることにより、体を動かす心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすることができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>心身の状態等に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ</li> </ul>	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>器具等を使い、回転したり、支持したり、逆位になったり、懸垂したりするなどの動きや技に挑戦し、各自の課題に応じた動きや技ができるようになることにより、楽しさや喜びを一層味わうことができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>器具等を使う運動について、自己の課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ</li> </ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>体ほぐしの運動遊び・運動</li> <li>多様な動きをつくる運動遊び・運動</li> <li>体の動きを高める運動</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>心と体の状態等に応じて運動の課題や行い方を選ぶこと</li> <li>誰もが気付きや関わり合いが深まる運動や、体の動きを高めるために適した運動の行い方を工夫したりすること</li> </ul>	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>固定施設を使った運動遊び</li> <li>マットを使った運動遊び・運動</li> <li>鉄棒を使った運動遊び・運動</li> <li>跳び箱を使った運動遊び・運動</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>器具等を使う運動について、自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること</li> </ul>
中学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>心と体の関係や自身の状況等を踏まえ、仲間と関わり合ったり、計画的に生活に運動を取り入れたりすることで、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすることができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>心身の状況等から、自他が体を動かす楽しさや心地よさを味わったり体の動きを高めたりするために必要なことを考え、運動を通して仲間と関わる方法や運動の組み合わせを工夫する</li> </ul>	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>器具の特性等に応じて、回転したり、支持したり、懸垂したり、バランスをとったりするなどの技に挑戦し、各自の課題に応じた技ができるようになることにより、自他が楽しさや喜びを一層味わうことができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>器具の特性等から、自他が器械運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技を習得する練習方法や演技構成を工夫する</li> </ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>体ほぐしの運動</li> <li>体の動きを高める運動</li> <li>実生活に生かす運動の計画</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>動きの組み合わせ方や仲間との関わり合いなどの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること</li> </ul>	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>マット運動の基本的な技</li> <li>鉄棒運動の基本的な技</li> <li>平均台運動の基本的な技</li> <li>跳び箱運動の基本的な技</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>器具等を使う運動について、技の行い方や技の組み合わせ方などの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること</li> </ul>
高等学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>心と体の関係や自身の状況等を踏まえ、仲間と主体的に関わり合ったり、計画的に生活に運動を取り入れたりすることで、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、生涯にわたる健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図ることができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>心身の状況等から、自他が体を動かす楽しさや心地よさを味わったり体の動きを高めたりするために必要なことを考え、運動を通して仲間と関わる方法や運動の組み合わせを合理的、計画的に工夫する</li> </ul>	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>器具の特性等に応じて、回転したり、支持したり、懸垂したり、バランスをとったりするなどの技に挑戦し、各自の課題に応じて技が滑らかに安定してできるようになることにより、自他が楽しさや喜びを一層味わうことができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>器具の特性等から、自他が器械運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技を習得する練習方法や演技構成を、合理的、計画的に工夫する</li> </ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>体ほぐしの運動</li> <li>実生活に生かす運動の計画</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動の行い方や運動の実生活への取り入れ方の課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること</li> </ul>	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>マット運動の基本的な技と発展技</li> <li>鉄棒運動の基本的な技と発展技</li> <li>平均台運動の基本的な技と発展技</li> <li>跳び箱運動の基本的な技と発展技</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>器具等を使う運動について、技や演技、仲間との関わり方など課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること</li> </ul>



# 体育「高次の資質・能力」イメージ案（全領域）

領域		C 陸上運動系、陸上競技		D 水泳運動系、水泳	
小学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"><li>走ったり、バトンの受け渡しをしたり、リズムカルにハードルを走り越えたり、リズムカルな助走から踏み切って跳んだりして、記録に挑戦したり、相手と競争したりすることにより、一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する</li></ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"><li>走・跳等に関する自己の課題の解決の仕方や競争・記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ</li></ul>	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"><li>泳ぐ距離や浮いている時間を伸ばしたり、記録を達成したりすることにより、水の中での活動で一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する</li></ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"><li>水の中での活動に関する自己の課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ</li></ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"><li>走の運動遊び、跳の運動遊び</li><li>かけっこ、短距離走・リレー</li><li>小型ハードル走・ハードル走</li><li>幅跳び・走り幅跳び</li><li>高跳び・走り高跳び</li></ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"><li>走・跳等に関する自己の課題を見つけ、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること</li></ul>	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"><li>水の中を移動する運動遊び</li><li>もぐる・浮く運動遊び</li><li>浮いて進む運動、もぐる・浮く運動</li><li>クロール、平泳ぎ</li><li>安全確保につながる運動</li></ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"><li>水の中での活動に関する自己の課題を見つけ、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること</li></ul>
中学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"><li>走・跳に関する基本的な動きや効率的な動きで、記録に挑戦したり相手と競争したりすることで、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する</li></ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"><li>走・跳の特性等を踏まえ、自他が陸上運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら基本的な動きや効率的な動きを習得する練習方法や競争の仕方を工夫する</li></ul>	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"><li>泳法の特性等に応じて、効率的な泳ぎで、続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりすることにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する</li></ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"><li>泳法の特性等から、自他が水泳運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら効率的な動きや長く泳ぐための動きの習得方法を工夫する</li></ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"><li>短距離走・リレー、長距離走、ハードル走</li><li>走り幅跳び、走り高跳び</li></ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"><li>陸上運動に関する基本的な動きや効率的な動きなどの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること</li></ul>	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"><li>クロールや平泳ぎ等の泳法</li></ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"><li>泳法などの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること</li></ul>
高等学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"><li>走・跳・投に関する合理的・効率的な動きで、記録に挑戦したり相手と競争したりすることで、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する</li></ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"><li>走・跳・投の特性等を踏まえ、自他が陸上競技の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら合理的・効率的な動きを習得する練習方法や競争の仕方を合理的、計画的な解決に向けて工夫する</li></ul>	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"><li>泳法の特性等に応じて、効率的でバランスを保った泳ぎで続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりすることにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する</li></ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"><li>泳法の特性等から、自他が水泳の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら効率的な動きや長く泳ぐための動きの習得方法を合理的、計画的な解決に向けて工夫する</li></ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"><li>短距離走・リレー、長距離走、ハードル走</li><li>走り幅跳び、走り高跳び</li><li>砲丸投げ、やり投げ</li></ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"><li>陸上競技に関して、合理的・効率的な動きなどの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること</li></ul>	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"><li>クロールや平泳ぎ等の泳法</li><li>複数の泳法</li></ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"><li>各泳法の合理的な動きなどの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること</li></ul>

14

# 体育「高次の資質・能力」イメージ案（全領域）

領域		E ボール運動系、球技		F 武道	
小学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームの特性等に応じて、自身の動きやボールに関する操作及び仲間と連携したゲームを展開することにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームの特性等から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と伝え合いながらルールや作戦、運動の取り組み方等を工夫する</li> </ul>		
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボールゲーム、鬼遊び</li> <li>ゴール型（ゲーム）、ネット型（ゲーム）、ベースボール型（ゲーム）</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゲーム等を行うにあたっての自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること</li> </ul>		
中学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームの特性等に応じて、自身の動きやボール等に関する操作及び仲間と連携した動きで、攻防を展開し、勝敗を競うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームの特性等から、自他がボール運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら練習方法や作戦、攻防の展開を工夫する</li> </ul>	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>攻防の特性等に応じて、自分の力や相手の力を効率的に使う基本的な技を仕掛けたり相手の動きを制御したりして簡易な攻防を展開し、勝敗を競い合い互いに高め合うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>攻防の特性等から、自他が武道の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技の習得方法や簡易な攻防の展開を工夫する</li> </ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴール型での攻防</li> <li>ネット型での攻防</li> <li>ベースボール型での攻防</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボール操作やボールを持たないときの動きなどの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること</li> </ul>	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>柔道の簡易な攻防</li> <li>剣道の簡易な攻防</li> <li>相撲の簡易な攻防</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>技の習得や簡易な攻防などの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること</li> </ul>
高等学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームの特性等に応じて、作戦や状況に応じた自身の動きやボール等に関する操作及び仲間と連携した動きで、攻防を展開し、勝敗を競うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームの特性等から、自他が球技の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら練習方法や作戦、攻防の展開を合理的、計画的な解決に向けて工夫する</li> </ul>	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>攻防の特性等に応じて、自分の力や相手の力を効率的に使う得意技を仕掛けたり相手の動きを制御したりして攻防を展開し、勝敗を競い合い互いに高め合うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>攻防の特性等から、自他が武道の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技の習得方法や攻防の展開を合理的、計画的な解決に向けて工夫する</li> </ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴール型での攻防</li> <li>ネット型での攻防</li> <li>ベースボール型での攻防</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>攻防やボール操作、ボールを持たないときの動きなどの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること</li> </ul>	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>柔道の攻防</li> <li>剣道の攻防</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>技の習得や攻防、合理的な動きなどの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること</li> </ul>

# 体育「高次の資質・能力」イメージ案（全領域）

領域		G 表現運動系、ダンス		H 体育理論	
小学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己の心身を解き放して、イメージやリズムの世界に没入して踊ることにより、楽しさや喜びを味わうことができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現やダンスの特性等に応じて、自己の課題の解決の仕方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して表現に取り組むことができるような発表・交流の仕方を工夫する</li> </ul>		
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現遊び、リズム遊び</li> <li>表現、リズムダンス</li> <li>フォークダンス</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現や交流を行うにあたっての自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること</li> </ul>		
中学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々なダンスの特性等に応じて、リズムやイメージ、踊りの特徴等を捉えて仲間とともに踊ったり自己を表現したりすることにより、自他が一層喜びや楽しさを味わうことができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現やダンスの特性等から、表現運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら表現の方法や構成を工夫する</li> </ul>	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツの文化としての側面や合理的な運動実践に必要なこと等、自他の豊かなスポーツライフの実現に関する科学的知識を身に付けることで、自己の状況等に応じた運動・スポーツとの多様な関わり方について考えを深めることができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊かなスポーツライフの実現のために必要なことを考え、自己の状況等に応じたスポーツとの関わり方を工夫する</li> </ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>創作ダンス</li> <li>フォークダンス</li> <li>現代的なリズムのダンス</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現や交流などの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること</li> </ul>	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動やスポーツの多様性</li> <li>運動やスポーツの効果と学び方</li> <li>文化としてのスポーツの意義</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動やスポーツへの多様な関わり方や文化としてのスポーツの意義などの課題を発見し、よりよい解決に向けて工夫すること</li> </ul>
高等学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々なダンスの特性等に応じて、リズムやイメージ、踊りの特徴等を捉えて、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを深めて自己を表現したりすることにより、自他が一層喜びや楽しさを味わうことができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダンスの特性等から、自他がダンスの楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら表現の方法や構成を合理的、計画的な解決に向けて工夫する</li> </ul>	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ文化の創造や合理的な運動実践に必要なこと等、自他の豊かなスポーツライフの実現に関する科学的知識を多角的に身に付けることで、自己の状況等に応じた運動・スポーツとの多様な関わり方について考えを深めることができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ文化の創造や豊かなスポーツライフの継続のために必要なことを考え、自己の状況等に応じたスポーツとの関わり方を工夫する</li> </ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>創作ダンス</li> <li>フォークダンス</li> <li>現代的なリズムのダンス</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現や交流、発表などの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること</li> </ul>	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展</li> <li>運動やスポーツの効果的な学習の仕方</li> <li>豊かなスポーツライフの設計の仕方</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代におけるスポーツの価値やスポーツライフの設計の仕方などの課題を発見し、持続可能な発展につながるよりよい解決に向けて工夫すること</li> </ul>

# 体育「高次の資質・能力」イメージ案（全領域）

領域		【全ての領域共通】運動との関わり方	
小学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動等の特性等に応じて、公正、協力、責任、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が運動に豊かに親しむことができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動等の特性等から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、自らの運動や仲間との関わり方などを工夫する</li> </ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する概念や方法等</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動の行い方に関する共生等に関する課題の発見や解決</li> </ul>
中学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動等の特性等に応じて、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が自らの人生において運動に豊かに親しむことができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動等の特性等から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、自らの運動や仲間との関わり方や安全の確保の仕方などを工夫し、生活に適用する</li> </ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する概念や方法等</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動実践につながる公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する課題の発見や解決</li> </ul>
高等学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動等の特性等に応じて、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が自らの人生において他者とよりよく関わりながら運動に豊かに親しむことができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動等の特性等から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、自らの運動や仲間との関わり方や安全の確保の仕方などを工夫し、生涯にわたる視野を踏まえ生活に適用する</li> </ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する概念や方法等</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動実践につながる公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する課題の発見や解決</li> </ul>



# 保健「高次の資質・能力」イメージ案（全領域）

領域		健康な生活、健康な生活と現代社会		心の健康、心の健康と対策	
小学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康の状態には、生活の仕方や生活空間の環境が関わっており、毎日を健康に過ごすためには、生活の仕方や生活環境を整えることが必要であることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康な生活の仕方を考え、身近な生活に適用する</li> </ul>	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>心は発達すること、心と体は密接な関係があること等の特徴を踏まえ、不安や悩みに対処することで、心の健康を保つことができることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>心をよりよく発達させたり、不安や悩みに対処する方法を考え、身近な生活に適用する</li> </ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康な生活</li> <li>1日の生活の仕方</li> <li>身の回りの環境</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康な生活に関わる課題を見付けること</li> <li>生活の仕方や生活環境を整えるための方法を考えること</li> </ul>	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>心の発達</li> <li>心と体との密接な関係</li> <li>不安や悩みへの対処</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>心の健康に関わる課題の発見</li> <li>よりよい心の発達や心と体の関わりについて考えること</li> <li>不安や悩みへの対処方法を考えること</li> </ul>
中学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康の状態には、個人の生活行動や社会環境が関わっており、人が健康に過ごすためには、生活行動を整えたり、より良い社会環境を目指すことが必要であることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康を保持増進する方法を見だし、自他の生活に適用する</li> </ul>	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神と身体は互いに影響し合うこと等の特徴を踏まえ、欲求やストレスに適切に対処することで、心の健康を保持増進できることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神機能を発達させたり、欲求やストレスへの適切な対処法を考え、自他の生活に適用する</li> </ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康の成り立ち</li> <li>生活習慣と健康</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康な生活に関する自他の課題の発見</li> <li>生活の質を高める方法を見いだすこと</li> </ul>	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神機能の発達と自己形成</li> <li>欲求やストレスへの心身への影響</li> <li>ストレスへの対処</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自他の心の健康に関わる課題の発見</li> <li>心の健康を保持増進する方法を見いだすこと</li> <li>ストレスへの適切な対処の方法を考えること</li> </ul>
高等学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康は、個人の生活行動と社会環境等の相互作用の下に成立しており、現代社会における健康課題に対応するためには、こうした相互作用を踏まえた行動選択が必要であることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康を保持増進するための個人や社会の取組の意義を見だし、社会生活に適用する</li> </ul>	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神疾患の疾病概念やその対処方法など心の健康を維持したり回復したりするために必要なことを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>心の健康を維持・回復するために必要な個人の取組や社会的な対策について考え、社会生活に適用する</li> </ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>国民の健康課題</li> <li>健康の考え方</li> <li>様々な保健活動や社会的対策</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康に関わる自他や社会の課題の発見</li> <li>生活の質の向上に向けた課題解決の方法を整理し、それらを表現すること</li> </ul>	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神疾患の特徴</li> <li>精神疾患への対処</li> <li>心の健康を維持・回復するための方法や対策</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自他や社会の心の健康に関わる課題の発見</li> <li>心の健康に関する課題を解決する方法を考えること</li> </ul>



# 保健「高次の資質・能力」イメージ案（全領域）

領域		けが・傷害の防止、安全な社会生活		病気・疾病の予防、疾病の予防と対策	
小学校	高次の資質・能力	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> <li>けがは、人の行動や生活環境が関わって発生していることを踏まえ、要因に対応した防止方法について身に付けることで、けがの防止につながることを理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険の予測や回避の方法を考え、身近な生活に適用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な病気の要因を踏まえた予防方法をとることで、その予防につながることを理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病気概念や予防の原則から、病気の予防方法を考え、身近な生活に適用する</li> </ul>
中学校	内容項目例	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		<ul style="list-style-type: none"> <li>けがの発生の原因</li> <li>けがの発生の防止</li> <li>けがの手当て</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>けがの防止に関わる課題を見付けること</li> <li>危険予測、回避方法</li> <li>けがの悪化を防ぐ手当ての方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病等の疾病概念と予防方法</li> <li>感染症の疾病概念と予防方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病気の予防に関わる課題を見付けること</li> <li>病気を予防する適切な方法を見いだすこと</li> </ul>
高等学校	高次の資質・能力	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> <li>傷害は、人の行動や生活環境及びそれらの相互によって発生していることを踏まえ、要因に対応した防止方法を身に付けることで、傷害の防止につながることを理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険の予測や回避の方法を多面的に考え、自他の生活に適用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疾病の要因を踏まえた予防方法をとることで、既存の病気に加え、未知の疾病の予防にも活用できることを理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疾病概念や予防の原則を拡張し、疾病の予防方法を考え、自他の生活に適用する</li> </ul>
高等学校	内容項目例	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		<ul style="list-style-type: none"> <li>傷害の発生要因</li> <li>傷害の発生の防止</li> <li>応急手当</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>傷害の防止に関する自他の課題の発見</li> <li>危険予測、回避方法</li> <li>傷害の悪化の防止方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病やがんの疾病概念と予防・回復の方法</li> <li>感染症の疾病概念と予防・回復の方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疾病の予防に関する自他の課題の発見</li> <li>疾病等にかかるリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を見いだすこと</li> </ul>
高等学校	高次の資質・能力	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> <li>事故の要因や予防の考え方について身に付け、社会的な対策を講じることで、安全な社会の形成につなげられることを理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避する方法を考え、社会生活に適用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疾病の特徴を踏まえた社会的な対策を講じることで、生涯の各段階の疾病の予防につながることを理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疾病概念や予防の原則を拡張し、疾病の特徴や生涯の各段階に応じた予防や回復の方法、社会的な対策を選択し、社会生活に適用する</li> </ul>
高等学校	内容項目例	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		<ul style="list-style-type: none"> <li>事故の発生要因</li> <li>安全な社会の形成に必要なこと</li> <li>速やかで適切な応急手当</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な社会生活に関わる課題の発見</li> <li>自他や社会の危険予測、回避方法</li> <li>傷害の悪化の防止方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症の疾病概念と予防方法</li> <li>生活習慣病やがんの疾病概念と予防と回復の方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疾病の予防に関する自他や社会の課題の発見</li> <li>疾病の特徴に応じてリスクを軽減し健康を保持増進するための個人の取組や社会的な対策を考えること</li> <li>生涯の各段階に応じた課題解決</li> </ul>

# 保健「高次の資質・能力」イメージ案（全領域）

領域		体の発育・発達、身体機能の発達、生涯を通じる健康		健康と環境、健康を支える環境づくり	
小学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>思春期の体の変化を踏まえた適切な生活の仕方を身に付けることで、体をよりよく成長させられることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>体をよりよく発育・発達させる方法について考え、身近な生活に適用する</li> </ul>		
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>体の発育・発達</li> <li>思春期の体の変化</li> <li>体をよりよく発育・発達させるための生活</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>体の発育・発達に関わる事象から課題を見付けること</li> <li>体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方を考えること</li> </ul>		
中学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>身体機能の発達を踏まえた適切な生活行動について身に付けることで、よりよい成長や行動選択ができるようになることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>身体機能の発達や適切な生活行動について考え、自他の生活に適用する</li> </ul>	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>衛生等の環境が、人の健康の保持増進に関連があることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康と環境に関わる概念や原則を生活環境から社会に関わる環境まで拡張し、健康を保持増進する方法を考え、自他の生活に適用する</li> </ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>身体機能の発達</li> <li>生殖に関わる機能の成熟</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>身体機能発達に関する自他の課題の発見</li> <li>発達の状況に応じた健康を保持増進する方法を見いだすこと</li> </ul>	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>身体的环境に対する適応能力・至適範囲</li> <li>飲料水や空気の衛生的管理</li> <li>生活に伴う廃棄物の衛生的管理</li> <li>健康を守る社会の取組</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康と環境に関する自他の課題の発見</li> <li>健康と環境に関わる課題や情報を整理して、健康を保持増進する方法を見いだすこと</li> </ul>
高等学校	高次の資質・能力	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯の各段階の健康課題を踏まえた健康管理や環境づくりを行うことで、生涯を通じた健康の保持増進や回復につながることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を通じる健康について考え、社会生活に適用する</li> </ul>	<b>統合的な理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康を支える環境づくりが、自他の健康の保持増進に関連があることを理解する</li> </ul>	<b>総合的な発揮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康と環境に関わる概念や原則を健康を支える環境づくりまで拡張し、全ての人が健康に生きていくための環境について考え、社会生活に適用する</li> </ul>
	内容項目例	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯の各段階における健康</li> <li>労働と環境</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯の各段階における自他や社会の課題の発見</li> <li>生涯の各段階に応じて健康を保持増進するための個人の取組や社会的な対策を考えること</li> <li>生涯の各段階に応じた課題解決</li> </ul>	<b>知識及び技能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルスプロモーションの考え方</li> <li>環境・食品と健康</li> <li>保健・医療制度及び地域の保健・医療機関</li> <li>様々な保健活動や社会的対策</li> <li>健康に関する環境づくりと社会参加</li> </ul>	<b>思考力、判断力、表現力等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康を支える環境づくりに関する自他や社会の課題の発見</li> <li>健康を支える環境づくりについて、個人の取組や社会的な対策を考えること</li> </ul>

## 参考

# 体育・保健の新たな「学びに向かう力・人間性等」の要素イメージ (Ver.2 : 第4回WG時点版)

## 学びに向かう力・人間性等

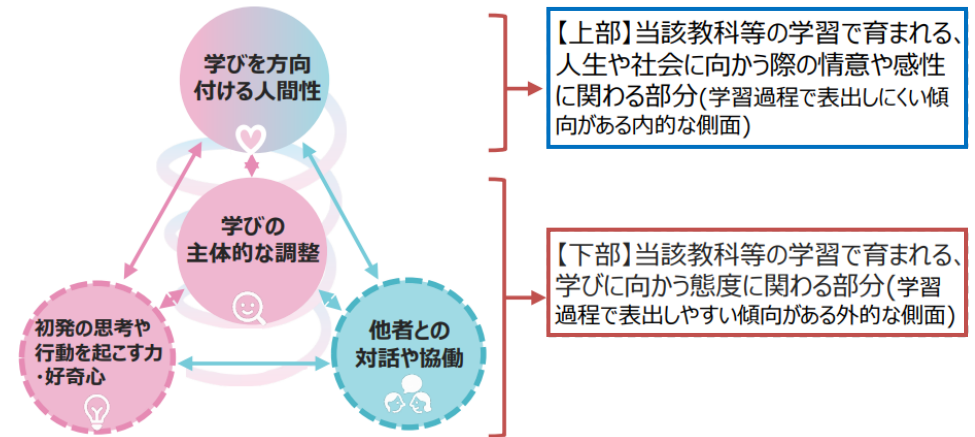
変化の激しい不確実な社会の中で、学びを通じて自分の人生を舵取りし、社会の中で多様な他者とともに生きる力を育むことを目指し、以下のとおり**主要な要素**等を整理。

### ① 当該教科等の学習で育みたい学びや生活に向かう態度

学びにおいて、好奇心を持って初発の思考や行動を起こし、他者との対話や協働を経ながら、学びを主体的に調整し、次の思考や行動に繋げていく態度  
(学習過程で表出しやすい傾向がある外的な側面)

### ② 当該教科等の学習で育みたい情意・感性

人生や社会との関わりにおいて育みたい情意や感性  
(学習過程で表出しにくい傾向がある内的な側面)



## 主な御意見等

●は体育・保健で共通すること、●は主として体育に関すること、●は主として保健に関すること

- 「意欲」や「主体性」に関する要素をより分かりやすく示してはどうか。
- 「学びに向かう力・人間性等」の要素を含め、目標を検討する際には、体育と保健の関連を踏まえた視点が重要ではないか。
- 態度に関する内容を、知識や技能の面に着目し、資質・能力の中で「知識及び技能」に再整理する方向性は、全ての教師にとって分かりやすく、指導の改善に繋がることが期待される。一方で、「指導内容が増えた」「教え込みが必要」などの誤解が生じることを防ぐ留意が必要。
- 従来「(運動・スポーツに関する)愛好的な態度」として示されていた要素は、将来にわたって豊かなスポーツライフを目指す観点からも、例えば「(他者を)たたえる」といったこと等も含め、子供たちの多様な姿をこれまで以上に積極的に価値づけることが期待される。  
(→上記 ● 2点については、次回以降、指導と評価について具体的なイメージを元に更なる検討を予定)
- 保健の学習の特性を踏まえ、学んだことを自身や他者の行動化につなげるといった要素を分かりやすく示すことは重要ではないか。

## 「学びに向かう力・人間性等」の要素イメージ (Ver.2)

### ① 当該教科等の学習で育みたい学びや生活に向かう態度【要素】

- ・ 既存の知識や経験等を土台として、初発的な思考や行動を起こす態度
- ・ 教師や指導者を含む他者対話・協働したり、関係する情報を書籍等から得ながら課題に取り組もうとする態度
- ・ 自身の思考や行動等を客観的に把握し、自己調整に努め、意欲的・主体的に課題等に取り組もうとする態度
- ・ 運動・スポーツとの多様な関わりや、それらを通じた人との関わり等に親しみ、その良さや価値を味わおうとする態度
- ・ 自他の健康の保持増進に向けて、学んだことを日々の生活行動と関連付けて実践しようとする態度

### ② 当該教科等の学習で育みたい情意・感性【要素】

- ・ 運動・スポーツを、多様な関わり方を前提として生活の中に取り入れ、自身の状況等に応じた心身の充実に努めながら、明るく豊かな生活を営もうとする態度
- ・ 生涯を通じて心身の健康の保持増進及び回復を目指そうとする態度
- ・ 活力あふれる健康長寿社会・共生社会や安全で安心な社会を実現し、社会全体が持続的にウェルビーイングである状態となることに向けて、その環境づくりに主体的・協働的に参画しようとする態度

※「目標」や「内容」等の検討や総則・評価特別部会等での全体の調整も踏まえて引き続き検討。

# 現行の体育科・保健体育科の「見方・考え方」「目標」

小

【柱書】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力・人間性等】

運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指す、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

中

【柱書】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力・人間性等】

生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指す、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

高

【柱書】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力・人間性等】

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指す、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

見方・  
考え方

体育

運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること。

保健

個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること。



# 「資質・能力の深まり」と「資質・能力の一体的育成」の可視化による「深い学び」の具現化

- 知識の理解も、それが生きて働くように深く学ぶことが重要。思考力、判断力、表現力等も、社会や生活で直面する未知の状況でも課題解決に繋げていけるよう「質」を高めることが重要（**資質・能力の「深まり」**）
- ある程度の知識・技能なしに思考・判断・表現することは難しいし、思考・判断・表現を伴う学習活動なしに、知識の深い理解と技能の確かな定着は難しい（**資質・能力の「一体的育成」**）  
➡こうした「**資質・能力の深まり**」と「**資質・能力の一体的育成**」を学習指導要領上で可視化することにより、**資質・能力の関係性の理解や、それらを一体的に育成するための教師の単元づくりを助け、「深い学び」を授業で具現化しやすくする**

＜生きて働く＞

## 知識及び技能

他の学習や生活の場面でも活用できる

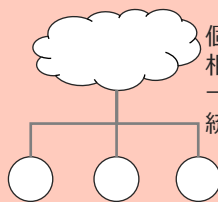
高次の資質・能力

### 知識及び技能に関する統合的な理解

個別の知識や技能が相互に関連付けられて一般化され、統合的な理解となった姿

(例) 関数を使えば未知の状況を予測できる

資質・能力の  
「深まり」の  
可視化



個別の知識や技能が相互に関連付けられて一般化されながら統合的に理解される

### 個別の知識や技能

(例) ・比例・反比例の理解  
・一次方程式の解き方  
・二元一次方程式を関数としてみなせることの理解  
・現実の事象を関数でモデル化できることの理解  
・二次関数でモデル化できる事象があることの理解

資質・能力の  
「一体的育成」  
の可視化



＜未知の状況にも対応できる＞

## 思考力、判断力、表現力等

知識・技能を活用しながら、未知の場面でも課題を解決できる

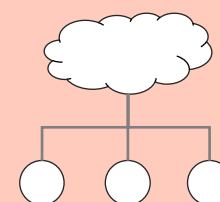
高次の資質・能力

### 思考力、判断力、表現力等の総合的な発揮

複雑な課題の解決に向けて、個別の思考力、判断力、表現力等を組み合わせたり選んだりして総合的に働かせた姿

(例) 現実の事象を数式でモデル化し、未知の状況を予測して、具体的な解決策を選択する

資質・能力の  
「深まり」の  
可視化



複雑な課題の解決に向けて、個別の思考力、判断力、表現力等を総合的に働かせる

### 個別の思考力、判断力、表現力等

(例) ・二つの数量の変化・対応関係を見だし、式やグラフを用いて考察する  
・現実の事象にある二つの数量の関係を関数と仮定して処理したりその結果に基づいて判断する

## 「高次の資質・能力」を検討する上でのチェックポイント(案)

### 【A 教科等の本質的意義の中核に照らした重要性の観点】

- ・目標の達成に資する上で重要であるとともに、各教科等の本質的意義の中核(「見方・考え方」)に照らし適切なものであるといえるか

### 【B 資質・能力の深まりを示す観点】

- ・要素となる個別の資質・能力の「深まり」を示す事ができているか。具体的には、内容のまとまりを単に要約した「見出し」に留まるのではなく、個別の資質・能力が児童生徒の中で相互に関連付けられて、統合的に獲得された際の姿を示すことができているか
- ・要素となる個別の資質・能力を学ぶことの意義(※)や、それを広く社会において、いつ、どのような文脈で活用することができるのか、を教師がイメージしやすいものとなっているか

(※) 学ぶことの「意義」は必ずしも実生活における実用的な側面にとどまらない点に留意

### 【C 深い学びを実現する単元づくりを助ける観点】

- ・教師が単元構想時に、「知識及び技能の統合的な理解」と、それにぶら下がる個別の「知・技」、「思考力・判断力・表現力等の総合的な発揮」と、それにぶら下がる個別の「思・判・表」とを往還して参照した際、単元を通じて児童生徒が追究する本質的な「問い」を構想する上で参考になるか
- ・教師が単元構想時に、「思考力・判断力・表現力等の総合的な発揮」と、それにぶら下がる個別の「思・判・表」とを往還して参照した際、論述・レポート・発表・作品製作等、単元を通じて児童生徒が資質・能力を統合的に発揮しながら取り組む課題を構想する上で参考になるか

### 【D 分かりやすさ等の観点】

- ・経験の浅い教師も含めて、一人一人の教師にとって、分かりやすく、使いやすいことに加え、教科等の面白さや魅力が伝わる文言となっているか(学習・指導を通じて、最終的には児童生徒自身が掴むことができる必要があるという点も留意)
- ・学校種・学年等、発達段階に即して妥当なものとなっているか(系統性等の重視により、発達段階に照らし過度に抽象的となっていないか等)